

議案第1号

令和元年度事業報告について

提案理由

本案は、令和元年度の事業報告について、理事会の承認をお願いするものです。

議案第1号

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会

令和元年度社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 推進目標：地域も関わり合える福祉学習の充実

令和元年度は、福祉教育実践普及校の小、中学校全校指定や福祉体験学習など各種事業を継続実施するとともに、県社協の助成事業を活用し福祉学習のアドバイザーを派遣するなど児童生徒に対する福祉教育が継続的に行われるよう努めました。さらに、地域や学校、関係機関、団体と連携して各種事業を実施しました。

(1) 継続的な福祉学習・福祉教育の実践《重点項目》

○福祉教育実践普及校の指定・研究

- ・福祉教育実践普及校の指定（1年） 市内4小学校・4中学校
- ・福祉教育実践発表会・研究会の開催 令和元年6月7日（金）市民会館中ホール
実践報告 岩沼南小学校、岩沼西中学校
講話 演題 ふくしってなあに？
～福祉学習を通して子どもたちになにを伝えるか～
講師 コミュニティ・4・チルドレン 菅原清香 氏
参加者 37名

○福祉教育担当者情報交換会の開催 令和元年10月31日（木）総合福祉センター

- ・参加者：7名（市内3小学校、4中学校の担当者）
- ・内容：福祉教育の取り組み状況、助成金の活用等についての情報交換

(2) 認め合える心を育む

○福祉作文の募集と表彰

応募数 1, 172点（65点）※カッコ内は審査会対象点数
岩沼小学校 118点（8点） 岩沼中学校 116点（10点）
玉浦小学校 2点（2点） 玉浦中学校 162点（10点）
岩沼西小学校 9点（7点） 岩沼北中学校 164点（10点）
岩沼南小学校 110点（8点） 岩沼西中学校 491点（10点）
各賞受賞作文集500部作成

市内各小中学校、関係機関・団体、ふれあいの広場等で配布

○福祉（体験）学習の支援

- ・市内小、中学校に対し児童生徒への福祉体験学習の指導及びボランティア派遣等により学習の支援を行いました。

番号	月 日	学校名	体 験 内 容	協力団体/ ボランティア等
1	5月24日	岩沼西小学校	3年：福祉に関する講話	職員 2名
2	6月12日	岩沼小学校	3年：福祉体験 白杖	職員 2名 ボラ 2名
3	6月25日	岩沼西小学校	3年：福祉体験 手話	職員 1名 ボラ 3名

4	10月9日	玉浦中学校	3年生：福祉体験 車イス 2年生：福祉体験 白杖	職員 4名 ボラ 5名
5	10月24日	玉浦小学校	4年生：福祉体験 手話、ボッチャ	職員 2名 ボラ 7名
6	11月19日	玉浦中学校	2年：視覚障害に関する講話	職員 1名 ボラ 4名
7	11月21日	玉浦中学校	3年：車イス生活に関する講話	当事者 1名 職員 2名
8	11月22日	玉浦中学校	1年：認知症に関する講話	職員 1名 ボラ 3名

(3) 福祉に触れる学びの実践

○小中学生のためのボランティア体験

- ・小学生のボランティア体験教室

令和元年7月30日（火）、8月2日（金） 参加者 延35名

- ・中学生のボランティア体験教室

令和元年7月23日（火）、9月21日（土） 参加者 延12名

- ・24時間テレビチャリティ募金活動協力 みやぎ生協岩沼店前

8月24日、25日（土・日）参加者 岩沼市ジュニアリーダー協議会 延15名

○文化伝承事業（児童しめ縄づくり体験）

- ・放課後子ども教室への運営参加（子どもの居場所づくり事業の一環）

北部のびやか教室、東部のびやか教室、南部のびやか教室、西部のびやか教室
及び子どもの居場所づくり運営委員会への参画

- ・文化の伝承

合同のびやか教室「親子で作ろう！しめなわづくり」への参画

令和元年12月21日（土） 参加者 64名

2 推進目標：地域を支えるボランティア育成と活動支援の充実

令和元年度は、各種講座や事業を通してボランティアの育成に力を入れ取り組むとともに、ボランティアセンター機能の充実を図り、ボランティア活動の支援に努めました。

(1) ボランティア育成の推進《重点項目》

○ボランティア養成講座

- ・福祉体験学習をみんなで体験してみよう

令和元年11月13日（水）

受講者 14名

- ・障害がある人の活動を支えるためのサポーター養成講座

令和2年2月5日、12日（水） 2回開催

受講者 延100名

(2) ボランティア活動支援の充実

○ボランティア活動支援事業

- ・登録ボランティア交流会

令和元年6月13日（木）総合福祉センター 参加者15名

○ボランティア保険加入促進事業

ボランティア保険加入 45団体 1,034名 個人 39名

行事保険加入 52団体

(3) ボランティアセンター機能（仕組み）の充実

○ボランティア登録（令和2年3月31日現在）

個人 104名

団体 15団体

○ボランティアのコーディネート

・ボランティア相談及び活動件数

依頼者	個人	施設	団体	地域	社協	合計
依頼件数	1件	6件	16件	6件	14件	43件
活動者数	1名	17名	38名	14名	198名	268名

3 推進目標：気軽に参加できる地域づくりの充実

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため一部サロン事業等中止しましたが、事業内容等の見直しを図りながら各事業を実施し地域づくりを考える機会を提供するとともに、助成制度や用具等貸出事業、ボランティアの紹介等により地域のサロン活動等の支援に努め、気軽に参加できる地域づくりを推進しました。

(1) 居場所づくり

○社協まちなかカフェ

令和元年8月6日（火）岩沼市民図書館

参加者 30名 ボランティア協力 9名

○障害者サロン

・障害がある人と家族とボランティアの時間

令和元年6月15日（土）～令和2年2月15日（土）4回開催（偶数月）

総合福祉センター 参加者 延66名 ボランティア 延41名

・発達に何らかの課題があるお子さんと家族のおもちゃの時間

令和元年5月11日（土）～令和2年1月18日（土）5回開催（奇数月）

総合福祉センター 参加者 延36家族89名 ボランティア 延70名

○在宅介護者サロン（家族を介護している人のためのサロン）

令和元年5月8日（水）～令和元年11月27日（水）3回開催

総合福祉センター 参加者 延14名

(2) 地域資源・社会資源の開発

○既存団体の把握、つながり作り

(3) 地域支援・団体支援

○地域サロン支援

・講師やボランティアの紹介等 6件

・レクリエーション用具貸出 183件

・サロン運営の支援 10件（助成金・立ち上げ支援他）

○地域支え合い活動助成事業

・ふれあいサロン事業等への支援と推進 助成金 3団体 150,000円

4 推進目標：一人ひとりを支える相談・生活支援の充実

令和元年度は、相談・生活支援事業については、行政や関係機関と連携し、相談者に合った支援や制度等へ適切に繋ぐことにより課題解決や自立に向けた相談、支援に努めるとともに、令和2年3月には感染症に係る多くの生活困窮者の相談・支援にあたりました。また、各事業においては、事業内容等の見直しを図りながら事業計画に沿って実施しました。

(1) 相談機能の充実

○ふれあい福祉相談事業

- ・出張相談8回（社協まちなかカフェ会場・社協就活サロンここから☆会場）

(2) 生活困窮世帯への自立生活支援の充実

○愛の福祉短期貸付事業

【貸付】相談 6件 貸付 2件 貸付金 40,000円
 【償還】相談 18件 償還 23件 償還金 65,000円

○生活困窮者自立支援事業の受託

- ①新規相談者 81名
 29歳以下 13名 30～49歳 31名 50～64歳 22名
 65歳以上 13名 年齢不明 2名
- ②相談 429件
 電話 106件 訪問・同行 43件 来所 208件
 他機関への照会・協議 72件
- ③各種制度等活用（家計改善相談、ハローワーク、貸付等） 106件
- ④プラン策定 新規 34件 継続 7件 中断 2件 終結 25件
- ⑤就労者数 12名
- ⑥就活サロン「ここから」 24回開催 利用者 延58名

○生活福祉資金貸付事業の受託

相談 33件
 貸付 2件（教育支援資金、緊急小口支援資金特例貸付）
 貸付金 410,000円

○善意銀行の運営

・預託払出状況

- ①預託 22件 紙オムツ、尿とりパッド、麻雀セット、車いす、使用済切手他
- ②払出 16件 紙オムツ、尿とりパッド、麻雀セット、車いす他

○日常生活自立支援事業（まもり一ぶ） 対象者（実利用者）2名 生活支援員3名

○歳末たすけあい運動

募 金		配 分	
一般	4,359,900円	見舞金	4,395,000円
事務局扱い	140,000円		(107世帯・193名)
前年度繰越	630,796円	翌年度繰越	735,696円
合 計	5,130,696円	合 計	5,130,696円

(3) 高齢者や障害者がいる世帯への生活支援の充実

○障害者新成人記念品贈呈事業 贈呈 5名

○ひとり暮らし高齢者会食のつどい 年6回開催 利用者 延293名

5月30日(木) 玉浦コミュニティセンター(玉中学区)

利用者 22名 民生委員 8名 マリン地域包括 3名

7月9日(火) 総合福祉センター(岩中学区)

利用者 49名 民生委員 5名 ボランティア 3名 南東北地域包括 2名

9月5日(木) 市民会館(市全域)

利用者 91名 民生委員 6名 ボランティア等 9名

11月8日(金) 市民交流プラザ(北中学区)

利用者 18名 民生委員 4名 ボランティア 4名 社協地域包括 3名

12月6日(金) ハナトピア岩沼(西中学区)

利用者 23名 民生委員 6名 ボランティア 5名 西地域包括 2名

2月18日(火) 岩沼リゾート(市全域)

利用者 90名 民生委員 11名

○高齢者夫婦世帯介護教室

令和元年10月4日(金)

参加者 117名 岩沼リゾート

講師 岩沼市地域包括支援センター連絡会

○福祉機器無料貸出事業 車いす貸出 32件

5 推進目標：地域福祉を推進する連携・協働の充実

令和元年度は、ふれあいの広場の開催や岩沼市生活支援体制整備事業の受託などにより、岩沼市や地域福祉を推進する関係機関・団体等との連携・協働がさらに深まりました。また、町内会連携地域福祉活動モデル事業においては、町内会が主体となってサロン活動や見守り活動等の地域づくりを指定終了後も継続されるよう支援に努めました。

(1) 連携・協働の関係づくり

○ふれあいの広場の開催

令和元年9月21日(土) 岩沼市民会館・中央公民館

来場者 約700名、ボランティア 275名、参加団体 20団体

23のコーナーを設置

福祉関係団体等の活動紹介・作品、製品の販売、福祉・レクリエーション体験等
福祉作文表彰・朗読 受賞者30名

○介護保険制度改正に伴う新しい総合事業への取り組み

・岩沼市生活支援体制整備事業の受託

①協議体の運営

第1回 6月27日(木) 総合福祉センター 出席者 57名

第2回 8月30日(金) 総合福祉センター 出席者 45名

第3回 2月20日(木) 岩沼市民会館 出席者 37名

②第1層生活支援コーディネーターの配置

協議体の企画・運営、第2層生活支援コーディネーターとの情報共有・活動支援、
高齢者支援のニーズ把握や社会資源の創出、関係機関のネットワーク構築等

第1・2層生活支援コーディネーター情報交換会の開催 146回
 第2層生活支援コーディネーター部会への参加 12回
 地域訪問 79回
 関係機関等との情報交換、連絡、調整等 343回
 FMいわぬま「社協まちなか通信」による地域情報等の発信
 毎月第1・3水曜日放送 22回（再放送72回）

○障害者関係機関等情報交換会の開催
 令和2年2月3日（月） すぎのこ学園 2団体参加
 その他、関係機関・団体と個別に情報交換を随時実施

○情報交換会議・情報共有会議への出席 11回

○震災復興定例支援会議への出席 1回

○各種委員会等への出席

（2）連携・協働による地域福祉の推進《重点項目》

○町内会連携地域福祉活動モデル事業

助成金交付式 令和元年5月10日（金） 総合福祉センター
 指定町内会 大手町親和会 早股下二町内会
 指定期間 2年間（平成30年度～令和元年度）

（3）共同募金委員会・老人クラブ連合会との連携・協働の推進

○岩沼市共同募金委員会の事務受託

- ・会務（事務、業務）の支援
- ・募金活動への協力等

○岩沼市老人クラブ連合会の事務受託

- ・会務（事務、業務）の支援
- ・社協共催事業
 - ①岩沼市老連シニアスポーツ大会
 - ②岩沼市老連スポーツ大会
 - ③岩沼市老人クラブ芸能のつどい
 - ④その他事業・研修への協力等

6 推進目標：福祉意識を高め地域活動を促す情報発信の充実

令和元年度は、広報活動においては、社協だよりやホームページ等を活用し市民の方々に地域福祉を身近に感じてもらい、地域づくりや地域活動への関心と参加意欲を高めていただくよう情報の発信・提供に努めました。

（1）社協だよりの充実

○社協だよりの発行

会報「社協だより」の発行 年6回（奇数月） 計 109,800部

（2）ホームページの内容充実

○ホームページの更新 随時更新

7 推進目標：地域を支えるための基盤強化

令和元年度は、新たに事業評価委員会を設置するなど地域福祉活動計画の適切な進行管理に努めるとともに、諸規程の改正や役職員の研修の充実を図るなど組織体制や運営基盤の整備に努めました。また、介護保険事業においては、デイサービスセンターの利用者の入院や施設への入所等が多く前年度より利用者、収入とも減となりましたが、無料体験等を通じて新規利用者の確保等に努め、経営の安定を図りました。

(1) 自主財源の確保

○経営・財政基盤の強化

1 会務の運営

①理事会

会 務 名	開 催 期 日	出 席 数	内 容
第291回 理 事 会	令和元年 5月28日	理事13名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告について ・平成30年度収支決算について ・諸規程の改正について ・第145回評議員会の開催について ・次期役員候補について ・第2回評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員候補者について ・評議員選任・解任委員の選任について
第292回 理 事 会	6月14日	理事12名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長及び常務理事の選定について ・理事の業務担当制について
第293回 理 事 会	9月13日	理事10名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の改正について
第294回 理 事 会	12月11日	理事10名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の改正について ・指定居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターの事業所移転について ・賃貸借契約の締結について ・令和元年度補正予算（第1号）について ・第146回評議員会の開催について
第295回 理 事 会	令和2年 3月10日	理事13名 (書面による 同意者) 監事 2名 (書面による 異議確認者)	書面による同意及び異議確認 <ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の改正について ・各種委託契約について ・指名競争入札による契約について ・令和元年度補正予算（第2号）について ・令和2年度事業計画について ・令和2年度収支予算について ・第147回評議員会の開催について

②評議員会

第145回 評 議 員 会	令和元年 6月14日	評議員22名 会長 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業報告について ・平成30年度収支決算について ・理事及び監事の選任について
------------------	---------------	----------------------	--

第146回 評議員会	12月23日	評議員19名 正副会長	・令和元年度補正予算(第1号)について
第147回 評議員会	令和2年 3月24日	評議員22名 (書面による 同意者)	書面による同意確認 ・令和元年度補正予算(第2号)について ・令和2年度事業計画について ・令和2年度収支予算について

③委員会等

監事会	令和元年 5月16日	監事2名 正副会長	・平成30年度事業報告について ・平成30年度収支決算について
第2回 評議員選任・ 解任委員会	6月4日	委員5名	・評議員の選任について
地域福祉推進 員会議	6月21日	会長 地域福祉推進員	・岩沼市社会福祉協議会について ・地域福祉推進員の役割について ・会費の納入について
総合企画部会	令和2年 2月25日	部会員6名	・令和2年度事業計画について
総務財政部会	2月25日	部会員4名	・令和2年度当初予算について
正副会長会議	年12回	正副会長	・当面の事業並びに運営について ・理事会・評議員会の案件について ・月間行事予定の調整と参加出席調整等

○岩沼市デイサービスセンター「さとのもり」管理・運営

岩沼市デイサービスセンターさとのもりについては、平成28年度より5年間、岩沼市から指定管理者として指定を受けました。

指定4年目の年に当たる令和元年度は、地域交流会や無料体験等の事業を実施するなど新規利用者の確保に努めましたが、長年利用頂いた方々の入院や施設への入所等が多く、例年並みの稼働率にとどまりました。

サービスの提供については、日常生活に支障が見られる高齢者（要支援・要介護認定を受けた方）に対し、生活の助長及び心身機能の維持向上を図るとともに、生きがいを持って暮らしていける一助となるよう努めました。

令和元年度利用状況

	延利用者数	一般型(予防) 延利用者数	認知症型 延利用者数	開所日
年間合計	8,999名	7,769名 (1,507名)	1,230名	360日
平均稼働率	79.5%	87.2%	51.0%	

(2) 役職員の価値観の共有化

○役職員研修の充実

- ・役職員研修会の開催 役職員 12名
- ・階層別研修会への参加 延14名
- ・職能別研修会への参加 延129名

○組織体制の見直し

- ・諸規程の制定及び改廃 改正22件

(3) 地域福祉活動計画の進行管理

○地域福祉活動計画の進行管理

- ・地域福祉活動策定委員会の開催 1回(8月)
- ・事業評価委員会の開催 1回(8月)

(4) 大規模災害時の相互支援

○協定社協等への支援(令和元年台風第19号災害)

- ・丸森町社会福祉協議会への職員派遣 58日 延73名

事業報告書の附属明細書

令和元年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会